

みやこ

育児の不安を解消！
京あんしんこども館が
サポートします！

お子様が生まれるときや病気になったとき、病気について相談したり、子育てをする上での悩みごとを共有できる方は近くにいますか。自宅で過ごしていても、少し目を離しているうちに、子どもが予想外の行動をとり、不慮の事故につながってしまう事例が数多く発生しています。

そんな時に頼りになる施設が、中京区(京都第二赤十字病院南隣)にあるをご存じでしょうか。昨年8月で開設20周年を迎えられた「京(みやこ)あんしんこども館」があります。

今回、日々の取組内容や特徴などについて、長村センター長にお話を伺いました。



センター長
おさむら としお
長村敏生 先生

この場所ではどんな事故が多いのか、防ぐためにはどういった対応を取るべきなのかがパネルにまとめてあります！

机の角に頭をぶつける、リモコンの電池の誤飲、電源コードが絡まる等、様々な危険が潜んでいることがわかります！



子どもセーフティハウス(居間)



子どもセーフティハウス(風呂場)

実際の家具や子どもの人形も展示されており、危険なことをイメージしやすいです！



子どもセーフティハウス(台所)



幼児視野体験メガネ



子どもの視野体験コーナー

幼児視野体験メガネをつけることで、子どもの視野を体験できます！大人が思っている以上に、子どもの視野は水平方向にも垂直方向にも狭く、車が通る道の横断はより注意して教える必要があります！



京あんしんこども館の
Instagramはこちら！

開館時間：
10時から18時まで(火・水・金・土・日)
12時から20時まで(木)
休館日：
毎週月曜日、年末年始(12月29日～1月3日)
※月曜日が祝日の場合は火曜日が休館となる。



地下鉄烏丸線「丸太町駅」
2番出口から徒歩5分
市バス(10・93・202・204系統)の
最寄の停留所は「府庁前」

施設について

本施設は、京都市子ども保健医療相談・事故防止センター(愛称 京あんしんこども館)として、平成16年8月に開設されました。「子ども保健医療相談センター」と「子ども事故防止センター」という2つの機能を有する施設です。

取組内容・特徴について

① 開館時間中は小児科専門医による 電話相談がいつでも無料で受けられる！

SNS上には様々な情報が溢れていますが、若いママ・パパにとって子どもになにかあったときに、その場で正しい情報を選択して適切な対応を取るということは難しいかと思えます。当センターではお子さん一人一人の状態にあった医学的に適切なアドバイスをさせていただいております。

② 子どもセーフティハウスがあり、 育児中の日常に潜む危険について学ぶことができる！

保健師・看護師が同行のもと、家庭内で事故が発生する危険がある箇所や事故の現場が再現された展示の説明を受けながら、家庭内の様々な場面で事故を防ぐ具体的な方法を学んでいただくことができます！

③ センター主催の多彩な研修会・講習会を各種開催！

保護者を対象とする「子どもの健康教室」、「乳幼児の心肺蘇生法講習会」、「自転車走行とチャイルドシート着用講習会」、これからママ・パパになる方を対象とする「プレママ・パパ教室」、将来子どもに関連する仕事に就く大学生や専門学生(看護系、教育系)、保育士等を対象とする「事故防止研修プログラム」等を定期的に開催しています！

また、近隣の小学校高学年の生徒を対象とする「心肺蘇生法講習会」も実施しています。小児科医による命の大切さや助け合いの精神、心肺蘇生法的重要性についての講義の後に、実技講習を体験してもらっています！

中京しんぶんの読者に向けて

近年の救急医療体制の整備、玩具等の製品改良、少子化、子どもの生活環境の変化、予防教育の普及などの結果、日本における乳幼児の事故による死亡数は減少傾向にありますが、諸外国に比べて事故死亡率が非常に高いのが実状です。

子どもの事故を「しょうがない、防ぎようがない」で終わらせてしまうのではなく、何かできる対策を講じてみませんか？

子育てや病気・ケガに関する不安や心配など何でも構いませんので、一人で悩まず、まずは相談してみてください！

市民しんぶん中京区版に関する問合せ
企画担当 ☎812-2421 FAX812-0408

子育て相談や施設見学に関する問合せ
京あんしんこども館 ☎231-8002 FAX231-8003